

# 地 元 密 着 通 信

各地区通信員のみなさんから届いた地元のできごとを紹介します！



Jimoto mitchaku  
tsushin

あなたの地区ではどんなできごとがあったでしょう。ぜひチェックしてみてください！

## 願いをこめて

福

田自治会

三浦 栄梨佳 通信員



1 月15日、今年も羽田春日神社  
境内で「どんど焼き」が行わ  
れました。

松の内までに飾っていた松飾りや  
しめ縄、お正月にしたためた書初め、  
昨年に授与したお守りなどを神社の  
境内に持ち寄り、お焚き上げをした  
煙とともに年神様をお送りするとい  
う行事です。

昔から炎は「穢れを清め生命を生  
み出す」と考えられていたことから、  
神聖な炎で縁起物をお焚き上げし、  
今年一年の無病息災と家内安全、そ  
して新型コロナウイルス感染症の収  
束を願いをこめて焚き上げました。



皆さんも良い一年をお過ごしください

## かわまた田んぼコンク

山

木屋地区自治会

菅野 勝久 通信員



山 木屋の冬の風物詩、田んぼリ  
ンクのオープンセレモニーが  
行われ国会議員をはじめ多くの来賓  
の方々が来場され、氷上綱引きなど  
を行なっていると、町内外の子ども  
達が集まり初滑りを楽しみました。  
屋外では無料で豚汁が振る舞われ、  
夜には花火も打ち上げられました。

今年以前のクラブ会員の高齢化な  
どで解散したのを受け、若手移住者  
2人が共同代表につき地元有志と共  
同で初めて氷作りに挑戦し見事に成  
功しました。今後は、町全体の風物  
詩になるように期待して見守ってい  
きたいと思います。



来シーズンも、天然リ  
ンクの氷を楽しみに待  
っててね！



## どんど焼きと団子やっ

仁

井町自治会

菅野 喜好 通信員



八 坂神社境内で1月15日、どん  
ど焼きを行いました。参加者  
が持ち寄った正月飾りや歳神さま、  
年末に作った門松と古いしめ縄も一  
緒に焚き上げ、無病息災や家内安全  
を願いました。

また同じ日に、仁井町会館にて  
いきいきサロンが開催され「団子さ  
し」を行いました。紅白の団子や折  
り紙で作った飾り物をみずの木に飾  
り付けしました。会員は家に飾って、  
一家繁栄を願うということです。

「どんど焼き」や「団子さし」など、  
昔からの行事が、今後も続くことを  
願いたいと思います。



昔からの年中行事が、  
これからも続きますよ  
うに…。



## 福 沢自治会

菅野 奈美子 通信員



### みんなで書き初め

**小** 学生の書き初め教室が、福沢公民館にて1月6日に開催され15名が参加しました。

講師の丹治英郎先生より、川俣中学校の生徒さんが、書道で日本一になった事や先生とのエピソードなどをお話して下さいました。

1・2年生はフェルトペン習字、3年生から6年生は毛筆です。それぞれの課題の文字に向き合いました。

丹治先生は「習字は一生ものです。文字の中心を考えて。ゆっくり丁寧に。賞状をもらった時は作品と一緒に保存が良いですよ」と、一人ずつご指導を頂きました。



丹治英郎先生、ご指導ありがとうございました！

## 川 俣南自治会

木瀬 君 通信員



### どんど焼き

**新** 中町の御霊神社で、1月15日とどんど焼きが行われました。

どんど焼きは、地域によっては左義長(さぎちょう)、道祖神祭とも言われ、正月事始めから1月7日(松の内)まで飾っていた松飾りやしめ縄、また昨年に授与されたお守りなど、神聖な炎でお焚き上げる縁起の良い行事です。

境内には沢山の正月飾りなどの品々が収められており、次々と燃やされていきました。

五穀豊穰、商売繁盛、安全、無病息災、そしてコロナの終息をお願いしたいですね。



地域によって呼び方が異なるのって不思議ですね！

## 中 央自治会

藤野 由紀子 通信員



### 新たな年の始まり

1 月29日、穴原温泉「溪苑花の講演会が開催されました。今回は山木屋地区で活動する「はちぎ農場合同会社」を共同で立ち上げた、当会役員

の宮地勝志氏に、苦労話や今後の展望などについてお話いただきました。熱心に伺ったあとは温泉に入って体を温め、美味しい食事を囲みながらの親睦の時間です。参加された18名の方々は、お互いに今年の抱負などを語り合い、ゆっくりと楽しいときを過ごして1年の良いスタートが切れた、と嬉しそうでした。今年も沢山の交流が図れることを期待します。



“美味しい野菜を作りたい”という宮地氏の話に皆さん真剣に耳を傾けました



## 小 島自治会

落合 幸男 通信員



### 台風水害デジタル地図

**川** 俣高校と小島自治会が「令和元年東日本台風」の被害実態調査を共同で昨年6月から進めてきました。そしてこの度、デジタル地図が完成し地図には約180箇所の発災直後と現在の写真を集約しました。更に土石流の範囲なども色分けして表示しました。

報告会では、半谷川俣高校校長から小島自治会にデジタル地図が送られました。自治会は「この地図を活用し、防災訓練や個別の避難計画などに役立て防災に強い地区にすることを進めます」と謝辞に力を込めました。



自治会からこれまでの高校生の活動に対して感謝状を贈りました

